

食べる喜びと健康

食と口腔を支援する高齢者のケア

DVD/VHS 定価(各巻) ¥20,000 (税別・送料) 各23分

全2巻

監修・指導 柴田範子(NPO 法人楽理事長、東洋大学、介護福祉士)
鈴木英哲(愛仁歯科院長・川崎在宅口腔ケア研究会)
杉山孝博(川崎幸クリニック院長)

第1巻 高齢者の食を考える



小規模多機能型居宅介護施設を中心に

第2巻 実践に見る口腔介護と 摂食・嚥下リハビリテーション



地域を支える歯科医師と他職種間の協働と連携

対象：ケアマネージャー、介護福祉士、社会福祉士、ホームヘルパー、歯科医師、歯科衛生士、看護師、
医療・福祉関係者、福祉系高校・短大・大学・専門学校、看護師養成校、社会福祉協議会、自治体

超高齢社会を迎える今日、高齢者をとりまく課題の一つに「食と健康」があります。人間の生活に欠かすことのできない食。しかし老化や一人暮らしなどから、人との関係性が薄くなり、食べることの楽しみを失い、食欲が低下し健康を害する高齢者が少なくありません。さらに施設はもとより、在宅で生活する要介護者や多くの高齢者、そして家族やヘルパーたちが身近に得られる食の情報は驚くほど少ないのが現状です。

また、食に関しては、栄養のバランス・嚥下・口腔ケア・水分補給など、医学的なさまざまな知識が必要です。食べることは生命を維持する基本的な行為だけでなく、地域や周りの人々とのコミュニケーションをもつ機会でもあります。高齢者の食の課題について、地域に密着して取り組んでいる小規模多機能型居宅介護施設の職員の取り組みや、高齢者の摂食機能療法に積極的に取り組んでいる歯科医師や歯科衛生士の取り組み、さらには認知症医療に積極的に取り組んでいる医師の姿を通して、これからの高齢者の食の課題と口腔介護と摂食・嚥下リハビリテーションを考えたいと思います。

企画・製作・発売

東京シネ・ビデオ株式会社

〒164-0001 東京都中野区中野2-13-21

電話 03-5342-5381 FAX 03-5342-5384

<http://www.tokyocine-video.co.jp>

Mail: info@tokyocine-video.co.jp

食べる喜びと健康 食と口腔を支援する高齢者のケア

〔介護職員やボランティア、在宅医療関係者、歯科医師、歯科衛生士、管理栄養士〕
などの連携や協働を通して、食を中心としたこれからの高齢者ケアを考える。〕

「年齢を重ねるということは、今まで当たり前できていたことができづらくなり、そして、できなくなります。「日々の生活のしづらさ」と表現できるでしょう。高齢者の食を考える上でも、「その生活のしづらさ」を受け止め、その疑問、疑問を豊かに感じられる支援の在り方がとても大切です」

NPO法人「楽」理事長 柴田範子

第1巻 高齢者の食を考える

小規模多機能型居宅介護施設「ひつじ雲」のスタッフが中心となり地域の高齢者と共に催す食事を契機に、高齢者の食の課題を考える柴田先生の実践を通して、食と健康に関して考察する導入編です。認知症医療の専門医として知られ地域医療に貢献している杉山孝博医師の考えも交え、人と一緒に食べる喜びと健康について考えます。

■ポイント■

- 管理栄養士による食に対する思いや調理法のレクチャー
- 歯科衛生士による口腔ケア指導
- 高齢者の食に対する注意点
- 食べることへのアプローチ
- 食後の口腔ケアの重要性
- 高齢者は体調の変化や症状が出にくい
- 食欲＝生命力、活気や表情、排泄量などをしっかりチェック
- 高齢者をとりまく介護予防の基礎知識

第2巻 実践に見る口腔介護と 摂食・嚥下リハビリテーション

歯科医師として在宅高齢者を訪問診療し摂食機能療法に取り組んでいる鈴木英哲医師と歯科衛生士の活動の様子と、地域医療、福祉関係者などとの協働を通して、摂食・嚥下リハビリテーションの実際と、口腔介護の重要性を学び高齢者にとっての食の問題を考えます。

■ポイント■

- 高齢者にとって大切な食と口腔リハビリ
- 本人の好みや嗜好も大切
- 在宅は障害をもって帰ってきてても生活の場であり家族の理解と協力が必要
- 食べるときの正しい姿勢
- 口から食べて咀嚼することで認知症予防
- 栄養状態が悪いと食欲の無いのが普通
- 多職種間の協働・連携
- 感染予防や誤嚥性肺炎予防のために
- 水分補給の重要性
- 全身管理をになっている地域の主治医を中心にしたチーム医療が重要

協力

小規模多機能型居宅介護施設「ひつじ雲」

NPO法人「楽」

川崎幸クリニック

愛仁歯科医院

口腔機能支援センターさいわい

川崎在宅口腔ケア研究会